

オーストラリア金融政策（2023年5月）

予想外の利上げ再開

2023年5月2日

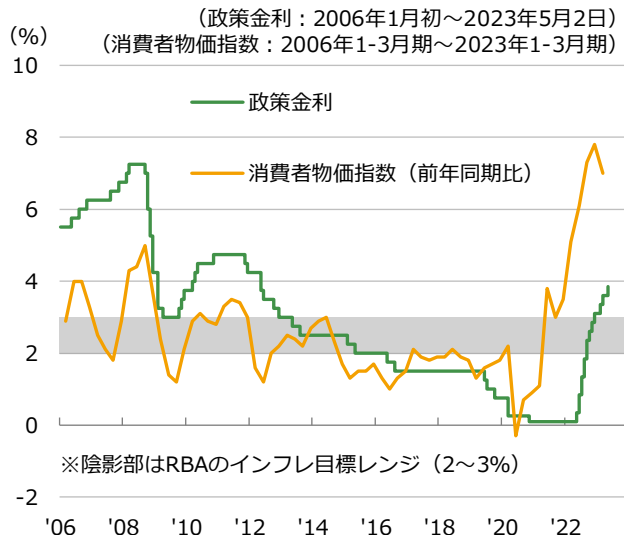
「妥当な期間内」にインフレ率を目標に戻すことの重要性を考慮

RBA（豪州準備銀行）は5月2日（現地、以下同様）の理事会で、政策金利を3.60%から3.85%に引き上げることを決定しました。前回4月4日の理事会では1年ぶりに政策金利の据え置きを決定しており、市場では今回も据え置きが予想されていたため、利上げ決定を受けて金利上昇・通貨高の反応となりました。

1-3月期の消費者物価指数は前年同期比+7.0%と、昨年10-12月期の+7.8%から伸びが鈍化しました。声明文では、インフレ率のピークは過ぎたとの認識を示しつつも、7%はまだ高すぎるとし、目標レンジに戻るまでしばらく時間がかかると指摘しています。そうした中、「妥当な期間内にインフレ率を目標に戻すことの重要性を考慮した」と利上げ決定に至った背景を説明しています。RBAは予測期間の最後である2025年半ばにインフレ率が目標レンジ上限の3%付近まで鈍化するとの予想を維持していますが、それが実現しないリスクに注意を払っている様子です。例えば、①サービス価格の伸びはとて高く、またそれが広範囲に及んでおり、他国の事例を勘案すると上振れリスクがあること、②労働市場がひっ迫した状況において、高インフレが続くとの予想は物価と賃金の更なる上昇につながることを指摘しています。

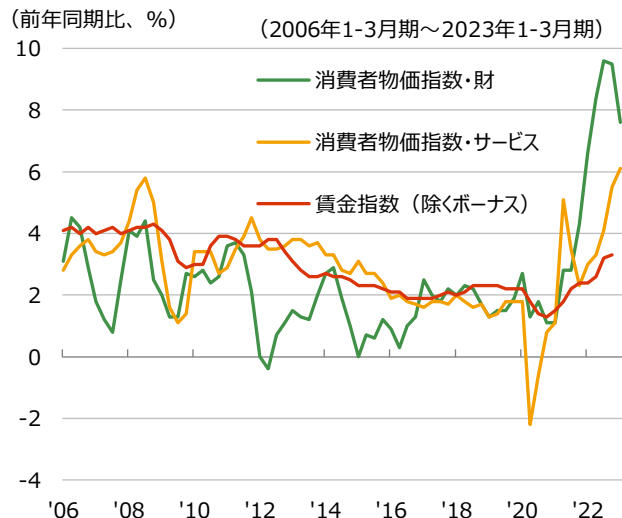
今後については「妥当な期間内にインフレ率を目標に戻すことを確実にするため、いくらかの更なる金融引き締めが必要になるかもしれない」と記し、ここでも「妥当な期間内」を意識して追加利上げの可能性を残しています。次回の理事会に向けては、特に5月17日に発表される1-3月期の賃金指数に注目です。

豪州：政策金利と消費者物価指数



（出所）ブルームバーグ、豪州統計局

豪州：財・サービス価格と賃金指数



（出所）豪州統計局

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management